

科目名	キャリア教育(1)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	堀夏美
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	職業人として社会に貢献するための基礎力を身につける。						
到達目標	社会人として業界に就職するための基礎社会人マナーを身につけ、明るく元気な学生を育み 学生自身に社会人としての基礎力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月22日	講義・演習	サポートアンケート/ITリテラシー/ シラバス配布	レポート
2	4月29日	講義・演習	週報記載/面談スケジュール/ 青本で学校を理解する/	レポート
3	5月6日	講義・演習	週報記載/現場参加の心構えをする/便覧	レポート
4	5月13日	講義・演習	週報記載/メールの書き方 送り方 与える印象を理解する	ワークシート提出
5	5月20日	講義・演習	週報記載/電話の取り方/かけ方 与える印象を理解する	ワークシート提出
6	6月3日	講義・演習	週報記載/プロ意識とは何か。 自己評価点検を行う/生活習慣の見直し	ワークシート提出
7	6月10日	講義・演習	週報記載 グループワークにてコミュニケーションを学ぶ	ワークシート提出
8	6月17日	講義・演習	週報記載 音楽業界への基礎知識を理解する	ワークシート提出
9	6月24日	講義・演習	週報記載 就職活動における企業を調べるツールを理解する	ワークシート提出
10	7月1日	講義・演習	週報記載 就職活動の方法を理解する	ワークシート提出
11	7月8日	講義・演習	週報記載 ミッションステートメントを書く	ワークシート提出
12	7月15日	講義・演習	週報記載 履歴書の書き方講座 事例検討をする	ワークシート提出
13	8月26日	講義・演習	週報記載/履歴書の書き方を理解する	ワークシート提出
14	9月9日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して業界人としてのコミュニティを学 ぶ	ワークシート提出
15	9月23日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して業界人としてのコミュニティを学 ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			前週の自分を振り返り、掲げる目標に対して向かえているかを自分で理解する。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	キャリア教育(2)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	堀夏美
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	職業人として社会に貢献するための基礎力を身につける。						
到達目標	社会人として業界に就職するための基礎社会人マナーを身につけ、明るく元気な学生を育み 学生自身に社会人としての基礎力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	週報記載/スケジュール確認/目標設定	レポート
2	10月14日	講義・演習	週報記載/エゴグラムでわかる自己評価を理解する	レポート
3	10月21日	講義・演習	週報記載/就職活動 スーツの着こなしを学ぶ	レポート
4	10月28日	講義・演習	週報記載/SPI 試験について理解する	ワークシート提出
5	11月11日	講義・演習	週報記載/SPI 試験について理解する	ワークシート提出
6	11月18日	講義・演習	週報記載/就職活動 プラットフォームへの理解する	ワークシート提出
7	11月25日	講義・演習	週報記載/敬語・謙譲語の理解	ワークシート提出
8	12月2日	講義・演習	週報記載/敬語・謙譲語の理解/ 社会人の基礎	ワークシート提出
9	12月9日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎	ワークシート提出
10	12月16日	講義・演習	週報記載/プレゼン力を磨く	ワークシート提出
11	1月6日	講義・演習	週報記載/社会人に向けての将来設計	ワークシート提出
12	1月13日	講義・演習	週報記載/スケジュール確認/ 2年生の目標設定	ワークシート提出
13	1月20日	講義・演習	1年間の振り返り、2年へ向けて	ワークシート提出
14	1月27日	講義・演習	イベント実践(we are TSM!)を通して業界人としてのコミュニティを学 ぶ	ワークシート提出
15	2月17日	講義・演習	イベント実践(we are TSM!)を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			前週の自分を振り返り、掲げる目標に対して向かえているかを自分で理解する。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	キャリア教育(3)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	堀夏美
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	職業人として社会に貢献するための基礎力を身につける。						
到達目標	社会人として業界に就職するための基礎社会人マナーを身につけ、明るく元気な学生を育み 学生自身に社会人としての基礎力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	サポートアンケート/ITリテラシー/ シラバス配布	レポート
2	4月27日	講義・演習	週報記載/1年間の目標設定	レポート
3	5月11日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎/1年生の復習	レポート
4	5月18日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎/1年生の復習	ワークシート提出
5	6月1日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎/1年生の復習	ワークシート提出
6	6月8日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎/1年生の復習	ワークシート提出
7	6月15日	講義・演習	週報記載/グループワークでコミュニケーション能力を付ける	ワークシート提出
8	6月22日	講義・演習	週報記載/グループワークでコミュニケーション能力を付ける	ワークシート提出
9	6月29日	講義・演習	週報記載/グループワークでコミュニケーション能力を付ける	ワークシート提出
10	7月6日	講義・演習	週報記載 自分自身の理解	ワークシート提出
11	7月13日	講義・演習	週報記載 就職活動確認/リクエスト授業	ワークシート提出
12	7月20日	講義・演習	週報記載/ リクエスト授業	ワークシート提出
13	8月24日	講義・演習	週報記載/音楽業界について調べる	ワークシート提出
14	8月31日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して業界人としてのコミュニティを学 ぶ	ワークシート提出
15	9月7日	講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して業界人としてのコミュニティを学 ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			前週の自分を振り返り、掲げる目標に対して向かえているかを自分で理解する。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	キャリア教育(4)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	堀夏美
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	職業人として社会に貢献するための基礎力を身につける。						
到達目標	社会人として業界に就職するための基礎社会人マナーを身につけ、明るく元気な学生を育み 学生自身に社会人としての基礎力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	週報記載/スケジュール確認/目標設定	レポート
2	10月12日	講義・演習	週報記載/エゴグラムでわかる自己評価を理解する	レポート
3	10月19日	講義・演習	週報記載/就職活動 スーツの着こなしを学ぶ	レポート
4	11月2日	講義・演習	週報記載/SPI試験について理解する	ワークシート提出
5	11月9日	講義・演習	週報記載/SPI試験について理解する	ワークシート提出
6	11月16日	講義・演習	週報記載/就職活動 プラットフォームへの理解する	ワークシート提出
7	11月30日	講義・演習	週報記載/敬語・謙譲語の理解	ワークシート提出
8	12月7日	講義・演習	週報記載/敬語・謙譲語の理解/ 社会人の基礎	ワークシート提出
9	12月14日	講義・演習	週報記載/社会人の基礎	ワークシート提出
10	12月21日	講義・演習	週報記載/プレゼン力を磨く	ワークシート提出
11	1月11日	講義・演習	週報記載/社会人に向けての将来設計	ワークシート提出
12	1月25日	講義・演習	週報記載/スケジュール確認	ワークシート提出
13	2月1日	講義・演習	就職に向けて	ワークシート提出
14	2月8日	講義・演習	イベント実践(we are TSM!)を通して業界人としてのコミュニティを学 ぶ	ワークシート提出
15	2月15日	講義・演習	イベント実践(we are TSM!)を通して業界人としてのコミュニティを学ぶ	ワークシート提出
準備学習 時間外学習			前週の自分を振り返り、掲げる目標に対して向かえているかを自分で理解する。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベントマネジメント(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	堀夏美
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	イベントの成り立ちを学ぶ。グループワークを通じて実際の職務を円滑にすすめるためのスキルを身に着けます。 イベントに必要な集客・宣伝・運営・イベント管理・調整業務からビジネススキルを習得します。 チームで業務を行う中でイベントをマネージメントできる人材を育成します。						
到達目標	社会人としてのコミュニケーションスキルの習得、グループワークから実際の業務進行が行えるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	自己紹介・オリエンテーションから人前で話せる力を身につける。	レポート
2	4月25日	講義・演習	イベントの成り立ちを学習する	レポート
3	5月9日	講義・演習	イベントにおけるディスカッション方法を身につける事ができる	レポート
4	5月16日	講義・演習	グループディスカッション・業務報告ができるようになる。	レポート
5	5月23日	講義・演習	グループディスカッション・業務報告の重要性を理解する	レポート
6	5月31日	講義・演習	グループワーク、資料作成ができる	レポート
7	6月6日	講義・演習	イベント実務に必要なコミュニケーションを理解する	レポート
8	6月13日	講義・演習	グループワーク・実務資料(マニュアルの作成)を行うことができる	レポート
9	6月20日	講義・演習	グループワークを通じたイベントの実施ができる	レポート
10	6月27日	講義・演習	イベント実施後の振り返り、終了報告をグループで行うことができる	レポート
11	7月4日	講義・演習	イベント運営に向けたグループワークを行う。	レポート
12	7月11日	講義・演習	FESの運営方法からマネジメントを学ぶことができる。	レポート
13	8月22日	講義・演習	(テスト)運営方法を考案しグループ内で発表することができる	レポート
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネジメントを学ぶ	レポート
15	9月5日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネジメントを学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベントマネジメント(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	堀夏美
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	<p>イベントの成り立ちを学ぶ。グループワークを通じて実際の職務を円滑にすすめるためのスキルを身に着けます。          イベントに必要な集客・宣伝・運営・イベント管理・調整業務からビジネススキルを習得します。          チームで業務を行う中でイベントをマネージメントできる人材を育成します。</p>						
到達目標	<p>社会人としてのコミュニケーションスキルの習得、グループワークから実際の業務進行が行えるようになる。</p>						
評価方法と基準	<p>筆記又は、実技テストによる採点</p>						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	イベント実習の振り返りをおこない業務報告ができる	レポート
2	10月10日	講義・演習	新しいイベントに向けたグループワークを行う	レポート
3	10月17日	講義・演習	グループ発表1 プレゼンテーションの方法を学ぶ	レポート
4	10月24日	講義・演習	プレゼンテーションを通じて問題点の洗い出しを行い業務を分析する	レポート
5	10月31日	講義・演習	グループワーク 分析結果をまとめることができる	レポート
6	11月14日	講義・演習	分析結果から運営資料をまとめる方法を学ぶ	レポート
7	11月21日	講義・演習	グループ発表2 プレゼンテーションができるようになる	レポート
8	11月28日	講義・演習	グループワーク イベントマネジメント資料のまとめ方を理解できる	レポート
9	12月5日	講義・演習	グループワーク イベントマネジメント資料のまとめ方を理解できる 続き	レポート
10	12月12日	講義・演習	グループワーク イベント業務を進める準備を理解する	レポート
11	12月19日	講義・演習	グループワーク イベント業務の資料を作成する。	レポート
12	1月16日	講義・演習	グループワーク イベント業務の資料を完成する事ができる	レポート
13	1月23日	講義・演習	イベント実行に向けたミーティングを行う事ができる。	レポート
14	1月30日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネジメントを学ぶ	レポート
15	2月6日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネジメントを学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	キャリアデザイン(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	堀夏美
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	就職における、面接マナー・現在出ている求人の確認、一人ひとりが目標とする就職先の希望を明確にする						
到達目標	社会人としての基礎力(メールの送り方、挨拶の仕方、電話の仕方、履歴書の書き方など)を学び、働くことの意味や仕事の職種、内容について考える事で自らの将来像をイメージできるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月23日	講義・演習	自分の仕事のタイプについて知ることができる	自分自身の分析
2	4月30日	講義・演習	キャリアをデザインしよう/ スティーブジョブスの偶然をキャリアに	プレゼン資料の準備(レポート)
3	5月7日	講義・演習	学生生活キャリアイメージを理解する	プレゼン資料の準備(レポート)
4	5月14日	講義・演習	自分らしさ/自信をみにつける事ができる	学園祭の企画制作に関わる資料の製作及び 打ち合わせ(レポート)
5	5月21日	講義・演習	コミュニケーションの難しさを理解する	学園祭の企画制作に関わる資料の製作及び 打ち合わせ(レポート)
6	5月28日	講義・演習	コミュニケーション例/説明力を学ぶ	学園祭の企画制作に関わる資料の製作及び 打ち合わせ(レポート)
7	6月4日	講義・演習	面接など基本を理解する	レポート
8	6月18日	講義・演習	身だしなみについて知る	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
9	6月25日	講義・演習	働きがいとは/次回の課題を考える事ができる	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
10	7月2日	講義・演習	インタビュー課題を理解する	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
11	7月9日	講義・演習	PDCAサークル/仕事の心身を理解する	企画制作に関わる資料の製作(レポート)
12	7月16日	講義・演習	仕事の収入の成り立ち/収入について理解する	テストの答案に関して自ら調べ復習する(レポート)
13	8月27日	講義・演習	内定が出てから行うこと理解する	テストの答案に関して自ら調べ復習する(レポート)
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通して社会人としての振る舞いを学ぶ	レポート
15	9月24日	講義・演習	イベント実践を通して社会人としての振る舞いを学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	音楽史(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	中町俊自
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ロックの歴史を時代を追って研究する。異なるジャンル、時代のロックがいかに現在のポピュラーミュージックに影響を与えているかを考えながら学ぶ。						
到達目標	1) 各時代のジャズのスタイルの違いを説明できること。 2) 音楽との関係性を知ること。 3) 有名な曲の歴史的意義を知る。 4) 各自の音楽制作、演奏、企画に役立てる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	ロック史の概観と2000年以降のロックシーン	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
2	4月25日	講義・演習	ロックの誕生～若者向けの商業音楽の成立	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
3	5月9日	講義・演習	エルヴィス・プレスリーの登場による社会の変化	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
4	5月16日	講義・演習	ザ・ビートルズが起こした革命	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
5	5月23日	講義・演習	ボブ・ディランとフォークソング、フォークロック	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
6	5月31日	講義・演習	ソウル・ミュージックを学ぶ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
7	6月6日	講義・演習	「サージェント・ペパーズ」が切り開いた世界を知る	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
8	6月13日	講義・演習	70年代へ続く道	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
9	6月20日	講義・演習	70年代、ロックの大衆化	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
10	6月27日	講義・演習	パンクの登場	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
11	7月4日	講義・演習	MTVによる時代の変化とHIPHOPが生み出した新しいグルーヴ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
12	7月11日	講義・演習	テスト	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
13	8月22日	講義・演習	90年代、グランジの時代／まとめ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
14	8月29日	講義・演習	総まとめ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
15	9月5日	講義・演習	テスト	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
準備学習 時間外学習			自分から進んで授業に関する音源を探して聴くこと。	
【使用教科書・教材・参考書】 適宜、講師が用意。				



科目名	MusicTheory(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	田村野安
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていくためには、業界で共通の認識とされている楽譜の基礎知識が必要となる。本講義では、音楽理論といわれるそれらの内容について基礎から学び、卒業後には業界人として何事にも自信を持って取り組めるようにする。						
到達目標	音楽業界で飛びかう用語や楽譜の基礎知識を理解できるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	楽譜の歴史、五線譜、クレフ	五線譜の各部名称とクレフ、音名を復習する
2	4月25日	講義・演習	音名	五線に書かれた音符の音名と鍵盤の位置が一致出来るように復習する
3	5月9日	講義・演習	音符、休符	音符、休符の表し方と連符を復習する
4	5月16日	講義・演習	拍子、複合拍子	小節線、単純拍子、複合・混合拍子、タイについて復習する
5	5月23日	講義・演習	反復記号	反復記号を学び、音源を聴き楽譜を追えるようにする
6	5月30日	講義・演習	スコアリーディング	1w～5wまでの復習をし理解度を高める
7	6月6日	講義・演習	中間テスト	1w～5wまでの復習をし理解度を高める
8	6月13日	講義・演習	メジャースケール	メジャースケールの仕組みを復習する（#系メジャースケール）
9	6月20日	講義・演習	メジャースケール	5度圏を用い、調号を用いてスケールを書けるようにする（b系メジャースケール）
10	6月27日	講義・演習	記譜法、臨時記号	調号と臨時記号の区別、臨時記号の効力を学び正しい楽譜が書けるようにする
11	7月4日	講義・演習	テンポ、強弱記号	速度記号、速度標語、強弱記号を復習する
12	7月11日	講義・演習	スコアリーディング	総復習をし、理解度を高める
13	8月22日	講義・演習	まとめ、期末予備テスト	復習、テスト対策を行い期末テストに備える
14	8月29日	講義・演習	期末テスト	復習、テスト対策を行い期末テストに備える
15	9月5日	講義・演習	テスト返却、復習	楽譜を見てKeyや雰囲気をつかむことができるようにする
準備学習 時間外学習			前回までの内容をワークを使って復習、次の内容に備える	
【使用教科書・教材・参考書】				
ゼロから始める音楽理論、「ゼロから始める音楽理論 ワークブック」 喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行) 株式会社滋慶教育事業部				

科目名	Ear Training(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	田村野安
学科・コース	音楽テクノロジー科3年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていくためには、リズム感と音感が必要となる。本講義では聴こえる音やリズムを正しく五線紙に書き取り、実際に歌うなどしてソルフェージュの基礎を養う。卒業後には業界人として何事にも自信を持って取り組めるようにする。						
到達目標	聴こえる音やリズムを正しく判別できるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	音の歴史、モールス信号、周波数、効果音について知る リズム打ち・書き取り方について知る 音の高低の判定	配布された授業プリントのリズム書き取りを正確に叩けるようにする
2	4月25日	講義・演習	4分音符、4分休符のリズム打ち 3拍子と4拍子のビート感覚を養う 2線紙を使って音の高低判定 2度音程を歌い音程感を身に付ける	配布された授業プリントのリズム打ちや書き取りを復習する
3	5月9日	講義・演習	8分音符のリズム打ちと5線紙を使ってリズムの書き取り 3線紙を使って音の高低判定	配布された授業プリントのリズム打ちや書き取りを復習する
4	5月16日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符のリズム打ち、リズムの書き取り、5線紙を使ってメロディーの書き取り 音程(全音と半音の区別)	配布された授業プリントのリズム打ちやメロディー書き取り、音程を復習する
5	5月23日	講義・演習	16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、休符の多いメロディーの書き取り 新曲視唱 音程(1.2.3.8度、# ♭なし)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
6	5月30日	講義・演習	16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、休符の多いメロディーの書き取り 新曲視唱ができる 音程(1.2.3.8度、# ♭あり)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
7	6月6日	講義・演習	中間テスト	今までの内容を復習し次回の授業に備える
8	6月13日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、メロディーの書き取り、新曲視唱 音程(4.5度# ♭なし)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
9	6月20日	講義・演習	8分休符(裏打ち)のリズム打ち、書き取り、メロディーの書き取り、新曲視唱 音程(1～5度8度、# ♭あり) トライトーン	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
10	6月27日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱 音程(1～5度、8、6度)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
11	7月4日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱 音程(1～8度)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
12	7月11日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱、Major, minorのコード判定、音程(1～8度)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
13	8月22日	講義・演習	期末予備テスト	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する
14	8月29日	講義・演習	期末テスト	復習、テスト対策を行い期末テストに備える
15	9月5日	講義・演習	テスト返却、総復習	復習
準備学習 時間外学習			前回の内容のリズム打ちや視唱を復習して次回に備える	
【使用教科書・教材・参考書】				
ゼロから始める音楽理論、「ゼロから始める音楽理論 ワークブック」 喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行) 株式会社滋慶教育事業部				

科目名	著作権(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	林達也
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	刻々と変わって行く音楽ビジネスの現状を常に吸収し学んでいく。音楽業界の基本構造から学び、著作権から発生する印税の仕組み、またコンサートビジネス/カラオケビジネス/レンタルCDなどの基礎も学ぶ。						
到達目標	音楽業界の基礎/著作権の基礎を理解するとともに、ビジネス的視点で捉えるスキル/考え方を得ることを目的とする。配信ビジネスへの変遷を含め、さまざまな角度から音楽ビジネスと音楽著作権を研究する。 著作権を主とした権利マネジメント/ビジネスの概要を学んで行く。また、現代における著作権の問題点などもあわせて理解を深める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月23日	講義・演習	オリエンテーション/音楽業界の構造(1)/日本のレコード産業・全体像	教科書準備チェック/配布授業資料復習
2	5月14日	講義・演習	音楽業界の構造(2)/日本レコード協会・JASRAC	教科書予習/配布授業資料復習
3	5月21日	講義・演習	著作権の基礎(1)概要/構造	教科書予習/配布授業資料復習
4	5月28日	講義・演習	著作権の基礎(2)歴史/現在	教科書予習/配布授業資料復習
5	6月4日	講義・演習	アーティストの権利/印税とは	教科書予習/配布授業資料復習
6	6月11日	講義・演習	収入シミュレーション(OD販売)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
7	6月25日	講義・演習	収入シミュレーション(ダウンロード/音楽配信)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
8	7月2日	講義・演習	日本におけるカラオケの歴史と市場/印税配分	教科書予習/配布授業資料復習
9	7月9日	講義・演習	著作権の保護期間/フェアユース/問題点など	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
10	7月16日	講義・演習	ミュージックビデオ/ プロモーションビデオの歴史と成り立ち	教科書予習/配布授業資料復習
11	7月23日	講義・演習	レンタルCD市場の歴史と著作権	教科書予習/配布授業資料復習
12	8月20日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの基礎(1)	教科書予習/配布授業資料復習
13	8月27日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの基礎(2)	教科書予習/配布授業資料復習
14	9月3日	講義・演習	音楽の仕事/音楽にまつわる職業の考察	教科書予習/配布授業資料復習
15	9月10日	講義・演習	まとめ/復習/期末課題への取り組み	期末課題取組準備
準備学習 時間外学習			教科書などを用いた授業への予習/毎授業で配布される授業資料を復習	
【使用教科書・教材・参考書】				
よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編/実践編 5th Edition (安藤 和宏) / 18歳の著作権入門 (福井 健策)				

科目名	著作権(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	林達也
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	刻々と変わって行く音楽ビジネスの現状を常に吸収し学んでいく。音楽業界の基本構造から学び、著作権から発生する印税の仕組み、またコンサートビジネス/カラオケビジネス/レンタルCDなどの基礎も学ぶ。また、著作権の概念や目的の基本を理解する。著作物とは何であるかを理解した上で、現代における音楽著作権の問題点なども含め、著作権使用料/印税などの具体例や事例を挙げて考察していく。						
到達目標	音楽業界の基礎/著作権の基礎を理解するとともに、ビジネス的視点で捉えるスキル/考え方を得ることを目的とする。配信ビジネスへの変遷を含め、さまざまな角度から音楽ビジネスと音楽著作権を研究する。著作権を主とした権利マネジメント/ビジネスの概要を学んで行く。また、現代における著作権の問題点などもあわせて理解を深める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	オリエンテーション/音楽業界の構造・応用編(1)	教科書準備チェック/配布授業資料復習
2	10月10日	講義・演習	音楽産業の構造・応用編(2)	教科書予習/配布授業資料復習
3	10月17日	講義・演習	著作権の必須知識/使える著作権	教科書予習/配布授業資料復習
4	10月24日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの応用(1)	教科書予習/配布授業資料復習
5	10月31日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの応用(2)	教科書予習/配布授業資料復習
6	11月14日	講義・演習	音楽における著作権侵害とは? 実例/具体例/判例など(1)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
7	11月21日	講義・演習	音楽における著作権侵害とは? 実例/具体例/判例など(2)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
8	11月28日	講義・演習	国際的な音楽活動/世界の音楽ビジネス事情	教科書予習/配布授業資料復習
9	12月5日	講義・演習	音楽ビジネスにおける各種契約(1)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
10	12月12日	講義・演習	音楽ビジネスにおける各種契約(2)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
11	12月19日	講義・演習	音楽ビジネスにおける録音フォーマットの歴史と変遷	教科書予習/配布授業資料復習
12	1月16日	講義・演習	変わりゆく著作権/時代と著作権との関係と問題点	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
13	1月23日	講義・演習	現在の音楽産業/これから10年後のビジネスモデル	教科書予習/配布授業資料復習
14	1月30日	講義・演習	音楽の仕事/音楽にまつわる職業の考察・応用編	教科書予習/配布授業資料復習
15	2月6日	講義・演習	まとめ/復習/期末課題への取り組み	期末課題取組準備
準備学習 時間外学習			教科書などを用いた授業への予習/毎授業で配布される授業資料を復習	
【使用教科書・教材・参考書】				
よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編/実践編 5th Edition (安藤 和宏) / 18歳の著作権入門 (福井 健策)				

科目名	イベントマネジメント(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	堀夏美
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	イベントの成り立ちを学ぶ。グループワークを通じて実際の職務を円滑にすすめるためのスキルを身に着けます。イベントに必要な集客・宣伝・運営・イベント管理・調整業務からビジネススキルを習得します。チームで業務を行う中でイベントをマネージメントできる人材を育成します。						
到達目標	社会人としてのコミュニケーションスキルの習得、グループワークから実際の業務進行が行えるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	自己紹介・オリエンテーションから人前で話せる力を身につける。	レポート
2	4月25日	講義・演習	イベントの成り立ちを説明できる	レポート
3	5月9日	講義・演習	イベントにおけるディスカッション方法を身につける事ができる	レポート
4	5月16日	講義・演習	グループディスカッション・業務報告ができるようになる。	レポート
5	5月23日	講義・演習	グループディスカッション・業務報告の重要性を理解する	レポート
6	5月31日	講義・演習	グループワーク、資料作成の取りまとめができる	レポート
7	6月6日	講義・演習	イベント実務に必要なコミュニケーションを理解する	レポート
8	6月13日	講義・演習	グループワーク・実務資料(マニュアルの作成)をまとめる方法を学ぶ	レポート
9	6月20日	講義・演習	グループワークを通じてイベントの実施ができる	レポート
10	6月27日	講義・演習	イベント実施後の振り返り、終了報告をグループで行うことができる	レポート
11	7月4日	講義・演習	イベント運営に向けたグループワークでリーダー・調整方法を学習する。	レポート
12	7月11日	講義・演習	FESの運営方法からマネジメントを学ぶことができる。	レポート
13	8月22日	講義・演習	(テスト)運営方法を考案しグループ内で発表することができる	レポート
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネジメントを学ぶ	レポート
15	9月5日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネジメントを学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベントマネジメント(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	堀夏美
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	イベントの成り立ちを学ぶ。グループワークを通じて実際の職務を円滑にすすめるためのスキルを身に着けます。イベントに必要な集客・宣伝・運営・イベント管理・調整業務からビジネススキルを習得します。チームで業務を行う中でイベントをマネージメントできる人材を育成します。						
到達目標	社会人としてのコミュニケーションスキルの習得、グループワークから実際の業務進行が行えるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	イベント実習の振り返りをおこない業務報告ができる	レポート
2	10月14日	講義・演習	新しいイベントに向けたグループワークでリーダーシップを習得する	レポート
3	10月21日	講義・演習	グループ発表1 プレゼンテーションの取りまとめ方法を学ぶ	レポート
4	10月28日	講義・演習	プレゼンテーションを通じて問題点の洗い出しを行い業務を分析する	レポート
5	11月11日	講義・演習	グループワーク 分析結果をまとめることができる	レポート
6	11月18日	講義・演習	分析結果から運営資料をまとめる方法を学ぶ	レポート
7	11月25日	講義・演習	グループ発表2 プレゼンテーションができるようになる	レポート
8	12月2日	講義・演習	グループワーク イベントマネジメントチームマネジメントを理解する	レポート
9	12月9日	講義・演習	グループワーク イベントマネジメントチームマネジメントを理解する 続き	レポート
10	12月16日	講義・演習	グループワーク イベント業務を進める準備を理解する	レポート
11	1月6日	講義・演習	グループワーク イベント業務の資料を作成する。	レポート
12	1月13日	講義・演習	グループワーク イベント業務の資料を完成する事ができる	レポート
13	1月20日	講義・演習	イベント実行に向けたミーティングをマネジメントすることができる。	レポート
14	1月27日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネジメントを学ぶ	レポート
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネジメントを学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベント制作(3) Event Management Produce(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 松尾有里子 堀夏美
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	イベント実践における制作業務を幅広く学習します。イベントを通して運営・制作・舞台進行・音響・照明の知識を総合的に理解するためにそれぞれの分野を掘り下げて、柔軟な考え方を習得するために実践準備からスタートしていきます。この実践準備からコミュニケーションスキルを養い、グループワークを主軸にそれぞれの立場で意見を言えるようになりミーティング力を高めます。当日までの各セクションのスタッフワークを繰り返し学ぶことでイベントを制作することができます。					
到達目標	イベントを企画・制作できるようになる。 イベントを実際に運営する。 運営マニュアル・運営資料・舞台制作資料・プラン表を作れるようになる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月23日	講義・演習	イベントに必要な資料を理解できる	ワークシート
2	5月14日	講義・演習	イベント運営における資料作成ができるようになる	ワークシート
3	5月21日	講義・演習	イベント制作における必要な資料を作成する	ワークシート
4	5月28日	講義・演習	イベント制作を通してプレゼンテーションをできるようになる	ワークシート
5	6月4日	講義・演習	イベント制作時に必要なプランニング表を作成する事ができる	ワークシート
6	6月11日	講義・演習	プランニングをもとに機材オペレーションをできるようになる	ワークシート
7	6月25日	講義・演習	プランニングしたものをチームで発表できる	ワークシート
8	7月2日	講義・演習	イベントタイムテーブルを理解し実際の時間を割り出す事ができる	ワークシート
9	7月9日	講義・演習	各セクションとコミュニケーションを取るツールを学ぶ	ワークシート
10	7月16日	講義・演習	チームでの打ち合わせを行うことができる。ミーティング実習	ワークシート
11	7月23日	講義・演習	本番当日の進行状況を理解することができる	ワークシート
12	8月20日	講義・演習	イベントにおける振り返りをすることで問題点を理解することができる	ワークシート
13	8月27日	講義・演習	イベントの振り返り資料を作成することができ全体に共有する。ミーティング実習	ワークシート
14	9月3日	講義・演習	明日への扉を通してイベント制作を学ぶ	レポート
15	9月10日	講義・演習	明日への扉を通してイベント制作を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベント制作(3) Event Work Produce(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	松尾有里子 堀夏美
		授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)						
教員の略歴							
授業の学習 内容	イベント実践における制作業務を幅広く学習します。イベントを通して運営・制作・舞台進行・音響・照明の知識を総合的に理解するためにそれぞれの分野を掘り下げて、柔軟な考え方を習得するために実践準備からスタートしていきます。この実践準備からコミュニケーションスキルを養い、グループワークを主軸にそれぞれの立場で意見を言えるようになりミーティング力を高めます。当日までの各セクションのスタッフワークを繰り返し学ぶことでイベントを制作することができます。						
到達目標	イベントを企画・制作できるようになる。 イベントを実際に運営する。 運営マニュアル・運営資料・舞台制作資料・プラン表を作れるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月23日	講義・演習	イベントに必要な資料を理解できる	ワークシート
2	5月14日	講義・演習	イベント運営における資料作成ができるようになる	ワークシート
3	5月21日	講義・演習	イベント制作における必要な資料を作成する	ワークシート
4	5月28日	講義・演習	イベント制作を通してプレゼンテーションをできるようになる	ワークシート
5	6月4日	講義・演習	イベント制作時に必要なプランニング表を作成する事ができる	ワークシート
6	6月11日	講義・演習	プランニングをもとに機材オペレーションをできるようになる	ワークシート
7	6月25日	講義・演習	プランニングしたものをチームで発表できる	ワークシート
8	7月2日	講義・演習	イベントタイムテーブルを理解し実際の時間を割り出す事ができる	ワークシート
9	7月9日	講義・演習	各セクションとコミュニケーションを取るツールを学ぶ	ワークシート
10	7月16日	講義・演習	チームでの打ち合わせを行うことができる。ミーティング実習	ワークシート
11	7月23日	講義・演習	本番当日の進行状況を理解することができる	ワークシート
12	8月20日	講義・演習	イベントにおける振り返りをすることで問題点を理解することができる	ワークシート
13	8月27日	講義・演習	イベントの振り返り資料を作成することができ全体に共有する。ミーティング実習	ワークシート
14	9月3日	講義・演習	明日への扉を通してイベント制作を学ぶ	レポート
15	9月10日	講義・演習	明日への扉を通してイベント制作を学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				



科目名	イベント制作(4) Event Management Produce(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 松尾有里子 堀夏美
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	90 (6単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	イベント実践における制作業務を幅広く学習します。イベントを通して運営・制作・舞台進行・音響・照明の知識を総合的に理解するためにそれぞれの分野を掘り下げて、柔軟な考え方を習得するために実践準備からスタートしていきます。この実践準備からコミュニケーションスキルを養い、グループワークを主軸にそれぞれの立場で意見を言えるようになりミーティング力を高めます。当日までの各セクションのスタッフワークを繰り返し学ぶことでイベントを制作することができます。					
到達目標	イベントを企画・制作できるようになる。 イベントを実際に運営する。 運営マニュアル・運営資料・舞台制作資料・プラン表を作れるようになる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月8日	講義・演習	イベント実施のための平面図を理解する	ワークシート
2	10月15日	講義・演習	イベント実施のための会場図面を理解する	ワークシート
3	10月22日	講義・演習	図面を他セクションと共有しミーティングを実施する	ワークシート
4	10月29日	講義・演習	イベント全体を動かすための時間の管理をすることができる	ワークシート
5	11月12日	講義・演習	イベント実施時にリーダーの役割を理解し役割分担を決めることができる	ワークシート
6	11月19日	講義・演習	イベントの種類を理解する。様々なイベントの書類作成	ワークシート
7	11月26日	講義・演習	イベントの特色を割り出し会場をブッキングすることができる	ワークシート
8	12月3日	講義・演習	イベントに向けキックオフミーティングを開催する	ワークシート
9	12月10日	講義・演習	打ち合わせ出でた問題点をディスカッションし解決する事ができる	ワークシート
10	12月17日	講義・演習	イベント制作におけるフローチャートを理解し資料を作成する	ワークシート
11	1月14日	講義・演習	イベントにおけるマニュアルを作成する事ができる	ワークシート
12	1月21日	講義・演習	スタッフをブッキングし打ち合わせを実施する。	ワークシート
13	1月28日	講義・演習	イベント実施における業務の整理と資料制作をまとめることができる	ワークシート
14	2月4日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネージメントを学ぶ	レポート
15	2月11日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネージメントを学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベント制作(4) Event Work Produce(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 松尾有里子 堀夏美
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 (8単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	イベント実践における制作業務を幅広く学習します。イベントを通して運営・制作・舞台進行・音響・照明の知識を総合的に理解するためにそれぞれの分野を掘り下げて、柔軟な考え方を習得するために実践準備からスタートしていきます。この実践準備からコミュニケーションスキルを養い、グループワークを主軸にそれぞれの立場で意見を言えるようになりミーティング力を高めます。当日までの各セクションのスタッフワークを繰り返し学ぶことでイベントを制作することができます。					
到達目標	イベントを企画・制作できるようになる。 イベントを実際に運営する。 運営マニュアル・運営資料・舞台制作資料・プラン表を作れるようになる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月8日	講義・演習	イベント実施のための平面図を理解する	ワークシート
2	10月15日	講義・演習	イベント実施のための会場図面を理解する	ワークシート
3	10月22日	講義・演習	図面を他セクションと共有しミーティングを実施する	ワークシート
4	10月29日	講義・演習	イベント全体を動かすための時間の管理をすることができる	ワークシート
5	11月12日	講義・演習	イベント実施時にリーダーの役割を理解し役割分担を決めることができる	ワークシート
6	11月19日	講義・演習	イベントの種類を理解する。様々なイベントの書類作成	ワークシート
7	11月26日	講義・演習	イベントの特色を割り出し会場をブッキングすることができる	ワークシート
8	12月3日	講義・演習	イベントに向けキックオフミーティングを開催する	ワークシート
9	12月10日	講義・演習	打ち合わせ出でた問題点をディスカッションし解決する事ができる	ワークシート
10	12月17日	講義・演習	イベント制作におけるフローチャートを理解し資料を作成する	ワークシート
11	1月14日	講義・演習	イベントにおけるマニュアルを作成する事ができる	ワークシート
12	1月21日	講義・演習	スタッフをブッキングし打ち合わせを実施する。	ワークシート
13	1月28日	講義・演習	イベント実施における業務の整理と資料制作をまとめることができる	ワークシート
14	2月4日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネージメントを学ぶ	レポート
15	2月11日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネージメントを学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベント制作(4) Event Produce(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 松尾有里子 堀夏美
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	イベント実践における制作業務を幅広く学習します。イベントを通して運営・制作・舞台進行・音響・照明の知識を総合的に理解するためにそれぞれの分野を掘り下げて、柔軟な考え方を習得するために実践準備からスタートしていきます。この実践準備からコミュニケーションスキルを養い、グループワークを主軸にそれぞれの立場で意見を言えるようになりミーティング力を高めます。当日までの各セクションのスタッフワークを繰り返し学ぶことでイベントを制作することができます。					
到達目標	イベントを企画・制作できるようになる。 イベントを実際に運営する。 運営マニュアル・運営資料・舞台制作資料・プラン表を作れるようになる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月8日	講義・演習	イベント実施のための平面図を理解する	ワークシート
2	10月15日	講義・演習	イベント実施のための会場図面を理解する	ワークシート
3	10月22日	講義・演習	図面を他セクションと共有しミーティングを実施する	ワークシート
4	10月29日	講義・演習	イベント全体を動かすための時間の管理をすることができる	ワークシート
5	11月12日	講義・演習	イベント実施時にリーダーの役割を理解し役割分担を決めることができる	ワークシート
6	11月19日	講義・演習	イベントの種類を理解する。様々なイベントの書類作成	ワークシート
7	11月26日	講義・演習	イベントの特色を割り出し会場をブッキングすることができる	ワークシート
8	12月3日	講義・演習	イベントに向けキックオフミーティングを開催する	ワークシート
9	12月10日	講義・演習	打ち合わせ出でた問題点をディスカッションし解決する事ができる	ワークシート
10	12月17日	講義・演習	イベント制作におけるフローチャートを理解し資料を作成する	ワークシート
11	1月14日	講義・演習	イベントにおけるマニュアルを作成する事ができる	ワークシート
12	1月21日	講義・演習	スタッフをブッキングし打ち合わせを実施する。	ワークシート
13	1月28日	講義・演習	イベント実施における業務の整理と資料制作をまとめることができる	ワークシート
14	2月4日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネージメントを学ぶ	レポート
15	2月11日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネージメントを学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベント制作(4) Event Project Produce(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 松尾有里子 堀夏美
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴						
授業の学習 内容	イベント実践における制作業務を幅広く学習します。イベントを通して運営・制作・舞台進行・音響・照明の知識を総合的に理解するためにそれぞれの分野を掘り下げて、柔軟な考え方を習得するために実践準備からスタートしていきます。この実践準備からコミュニケーションスキルを養い、グループワークを主軸にそれぞれの立場で意見を言えるようになりミーティング力を高めます。当日までの各セクションのスタッフワークを繰り返し学ぶことでイベントを制作することができます。					
到達目標	イベントを企画・制作できるようになる。 イベントを実際に運営する。 運営マニュアル・運営資料・舞台制作資料・プラン表を作れるようになる。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月8日	講義・演習	イベント実施のための平面図を理解する	ワークシート
2	10月15日	講義・演習	イベント実施のための会場図面を理解する	ワークシート
3	10月22日	講義・演習	図面を他セクションと共有しミーティングを実施する	ワークシート
4	10月29日	講義・演習	イベント全体を動かすための時間の管理をすることができる	ワークシート
5	11月12日	講義・演習	イベント実施時にリーダーの役割を理解し役割分担を決めることができる	ワークシート
6	11月19日	講義・演習	イベントの種類を理解する。様々なイベントの書類作成	ワークシート
7	11月26日	講義・演習	イベントの特色を割り出し会場をブッキングすることができる	ワークシート
8	12月3日	講義・演習	イベントに向けキックオフミーティングを開催する	ワークシート
9	12月10日	講義・演習	打ち合わせ出でた問題点をディスカッションし解決する事ができる	ワークシート
10	12月17日	講義・演習	イベント制作におけるフローチャートを理解し資料を作成する	ワークシート
11	1月14日	講義・演習	イベントにおけるマニュアルを作成する事ができる	ワークシート
12	1月21日	講義・演習	スタッフをブッキングし打ち合わせを実施する。	ワークシート
13	1月28日	講義・演習	イベント実施における業務の整理と資料制作をまとめることができる	ワークシート
14	2月4日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネージメントを学ぶ	レポート
15	2月11日	講義・演習	イベント実践を通してイベントマネージメントを学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	音楽史(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	中町俊自
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	ジャズの歴史を時代を追って研究する。異なるジャンル、時代のジャズがいかに現在のポピュラーミュージックに影響を与えているかを考えながら学ぶ。						
到達目標	1) 各時代のスタイルの違いを説明できること。 2) 音楽との関係性を知ること。 3) 有名な曲の歴史的意義を知る。 4) 各自の音楽制作、演奏、企画に役立てる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義・演習	ジャズ史概観 この授業で何を学べるのか	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
2	4月27日	講義・演習	ルイ・アームストロング ジャズの誕生	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
3	5月11日	講義・演習	デューク・エリントン ビッグ・バンドの時代	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
4	5月18日	講義・演習	グレン・ミラー ビッグ・バンドの広がり	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
5	6月1日	講義・演習	チャーリー・パーカー ビバップの始まりと進化	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
6	6月8日	講義・演習	「クールの誕生」	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
7	6月15日	講義・演習	マイルズ・デイヴィスと「モード」	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
8	6月22日	講義・演習	オーネット・コールマンとフリージャズ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
9	6月29日	講義・演習	ジョン・コルトレーン	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
10	7月6日	講義・演習	マイルズ・デイヴィス「ビッチズ・ブルー」	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
11	7月13日	講義・演習	ハービー・ハンコックとフュージョン	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
12	7月20日	講義・演習	コンテンポラリー・ジャズ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
13	8月24日	講義・演習	ジャズ・ヴォーカリスト	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
14	8月31日	講義・演習	日本のジャズのあゆみ	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
15	9月21日	講義・演習	テスト	授業で扱った時代・アーティストの音楽を鑑賞すること。
準備学習 時間外学習			自分から進んで授業に関する音源を探して聴くこと。	
【使用教科書・教材・参考書】 適宜、講師が用意。				

科目名	著作権(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	林達也
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	刻々と変わって行く音楽ビジネスの現状を常に吸収し学んでいく。音楽業界の基本構造から学び、著作権から発生する印税の仕組み、またコンサートビジネス/カラオケビジネス/レンタルCDなどの基礎も学ぶ。 また、著作権の概念や目的の基本を理解する。著作物とは何であるかを理解した上で、現代における音楽著作権の問題点なども含め、著作権使用料/印税などの具体例や実例を挙げて考察していく。						
到達目標	音楽業界の基礎/著作権の基礎を理解するとともに、ビジネス的視点で捉えるスキル/考え方を得ることを目的とする。配信ビジネスへの変遷を含め、さまざまな角度から音楽ビジネスと音楽著作権を研究する。 著作権を主とした権利マネジメント/ビジネスの概要を学んで行く。また、現代における著作権の問題点などもあわせて理解を深める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月22日	講義・演習	オリエンテーション/音楽業界の構造・応用編(1)	教科書準備チェック/配布授業資料復習
2	5月13日	講義・演習	音楽産業の構造・応用編(2)	教科書予習/配布授業資料復習
3	5月20日	講義・演習	著作権の必須知識/使える著作権	教科書予習/配布授業資料復習
4	5月27日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの応用(1)	教科書予習/配布授業資料復習
5	6月3日	講義・演習	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの応用(2)	教科書予習/配布授業資料復習
6	6月17日	講義・演習	音楽における著作権侵害とは?実例/具体例/判例など(1)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
7	6月24日	講義・演習	音楽における著作権侵害とは?実例/具体例/判例など(2)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
8	7月1日	講義・演習	国際的な音楽活動/世界の音楽ビジネス事情	教科書予習/配布授業資料復習
9	7月8日	講義・演習	音楽ビジネスにおける各種契約(1)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
10	7月15日	講義・演習	音楽ビジネスにおける各種契約(2)	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
11	7月22日	講義・演習	音楽ビジネスにおける録音フォーマットの歴史と変遷	教科書予習/配布授業資料復習
12	8月19日	講義・演習	変わりゆく著作権/時代と著作権との関係と問題点	教科書予習/授業内課題提出/配布授業資料復習
13	8月26日	講義・演習	現在の音楽産業/これから10年後のビジネスモデル	教科書予習/配布授業資料復習
14	9月2日	講義・演習	音楽の仕事/音楽にまつわる職業の考察・応用編	教科書予習/配布授業資料復習
15	9月9日	講義・演習	まとめ/復習/期末課題への取り組み	期末課題取組準備
準備学習 時間外学習			教科書などを用いた授業への予習/毎授業で配布される授業資料を復習	
【使用教科書・教材・参考書】 よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編/実践編 5th Edition (安藤 和宏) / 18歳の著作権入門 (福井 健策)				

科目名	キャリアデザイン(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	堀夏美
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	就職における、面接マナー・現在出ている求人の確認、一人ひとりが目標とする就職先の希望を明確にする						
到達目標	社会人としての基礎力(メールの送り方、挨拶の仕方、電話の仕方、履歴書の書き方など)を学び、働くことの意味や仕事の職種、内容について考える事で自らの将来像をイメージできるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月23日	講義・演習	自分の仕事のタイプについて知ることができる	自分自身の分析
2	4月30日	講義・演習	キャリアをデザインしよう/ スティーブジョブスの偶然をキャリアに	プレゼン資料の準備(レポート)
3	5月7日	講義・演習	学生生活キャリアイメージを理解する	プレゼン資料の準備(レポート)
4	5月14日	講義・演習	自分らしさ/自信をみにつける事ができる	学園祭の企画制作に関わる資料の製作及び 打ち合わせ(レポート)
5	5月21日	講義・演習	コミュニケーションの難しさを理解する	学園祭の企画制作に関わる資料の製作及び 打ち合わせ(レポート)
6	5月28日	講義・演習	コミュニケーション例/説明力を学ぶ	学園祭の企画制作に関わる資料の製作及び 打ち合わせ(レポート)
7	6月4日	講義・演習	面接など基本を理解する	レポート
8	6月18日	講義・演習	身だしなみについて知る	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
9	6月25日	講義・演習	働きがいとは/次回の課題を考える事ができる	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
10	7月2日	講義・演習	インタビュー課題を理解する	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
11	7月9日	講義・演習	PDCAサークル/仕事の心身を理解する	企画制作に関わる資料の製作(レポート)
12	7月16日	講義・演習	仕事の収入の成り立ち/収入について理解する	テストの答案に関して自ら調べ復習する(レポート)
13	8月27日	講義・演習	内定が出てから行うこと理解する	テストの答案に関して自ら調べ復習する(レポート)
14	9月10日	講義・演習	イベント実践を通して社会人としての振る舞いを学ぶ	レポート
15	9月24日	講義・演習	イベント実践を通して社会人としての振る舞いを学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	韓国語検定講座(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	堀夏美
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	TOPIK II 検定(5級)習得に向けた韓国語学習 国際通用韓国語標準教育課程」が提示している初級文法90個習得 Part1(学習)は、学習目標に応じた言語知識の学習 「Part2(実践)」は、「リスニングとスピーキング」「リーディングとライティング」「課題」に分けられます。「リスニングとスピーキング」は、「Part1(学習)」 で学んだ言語知識を活用し、リスニングとスピーキングの課題を実際に行います。 「リーディングとライティング」では、リーディングとライティングの課題を実際に行います。 「課題」では、学習した内容をすべて活用し、実際のコミュニケーションを体験できるように学習していきます						
到達目標	1. ネイティブ発音をイントネーションで話すことができる。 2. 日常生活の会話を身に付ける。 3. 単語力を身につける。 4. TOPIK II 検定(5級)習得						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月22日	講義・演習	韓国語で気候と天気について聞いて話すことができる。 気候と天気に関する記事を読み書きすることができる	レポート課題
2	4月29日	講義・演習	韓国語で買い物場所について聞いて話せる。 買い物場所に関する記事を読み書きすることができる	レポート課題
3	5月6日	講義・演習	韓国語でルックスについて聞いて話すことができる。 ルックスに関連する文を読み書きすることができる	レポート課題
4	5月13日	講義・演習	韓国語でショッピングや食材について聞いて話せる。 ショッピングや食材に関する記事を読み書きすることができる	レポート課題
5	5月20日	講義・演習	韓国語で外食と注文について聞いて話すことができる。 外食と注文に関連する文を読み書きすることができる	レポート課題
6	6月3日	講義・演習	韓国語で休暇計画について聞いて話すことができる。 休暇計画に関する記事を読み書きすることができる	レポート課題
7	6月10日	講義・演習	韓国語で健康状態と治療方法について聞いて話すことができる。 健康状態と治療方法に関する記事を読み書きすることができる	レポート課題
8	6月17日	講義・演習	韓国語で映画前売りについて聞いて話せる。 映画の前売りに関する記事を読み書きすることができる	レポート課題
9	6月24日	講義・演習	韓国語で休日にする活動について聞いて話せる。 休日にする活動に関連する文を読み書きすることができる	レポート課題
10	7月1日	講義・演習	韓国語で学校生活と規則について聞いて話すことができる。 学校生活と規則に関する記事を読み書きすることができる	レポート課題
11	7月8日	講義・演習	韓国語で失われた物を探す会話を聞いて話せる。 物を失った経験に関連する文を読み書きすることができる	レポート課題
12	7月15日	講義・演習	韓国語で対人関係について聞いて話すことができる。 対人関係に関する文を読み書きすることができる	レポート課題
13	8月26日	講義・演習	韓国語で家事に関する話を聞いて話せる。 家事に関する記事を読み書きすることができる	レポート課題
14	9月9日	講義・演習	イベント実践を通して会話技術を学ぶ	前期に学んだ内容の復習を行う
15	9月23日	講義・演習	イベント実践を通して会話技術を学ぶ	前期に学んだ内容の復習を行う
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 オンライン世宗学堂 サイバー韓国語初級2 テキスト				



科目名	就職対策講座(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	飯泉さか江
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	就職における、面接マナー・現在出ている求人の確認、一人ひとりが目標とする就職先の希望を明確にする						
到達目標	社会人としての基礎力(メールの送り方、挨拶の仕方、電話の仕方、履歴書の書き方など)を学び、働くことの意味や仕事の職種、内容について考える事で自らの将来像をイメージできるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月18日	講義・演習	自分の仕事のタイプについて知ることができる	プレゼン資料の準備(レポート)
2	4月25日	講義・演習	キャリアをデザインしよう/ステイブジョブスの偶然をキャリアに	プレゼン資料の準備(レポート)
3	5月9日	講義・演習	学生生活キャリアイメージを理解する	プレゼン資料の準備(レポート)
4	5月16日	講義・演習	自分らしさ/自信をみにつける事ができる	学園祭の企画制作に関わる資料の製作及び打ち合わせ(レポート)
5	5月23日	講義・演習	コミュニケーションの難しさを理解する	学園祭の企画制作に関わる資料の製作及び打ち合わせ(レポート)
6	5月31日	講義・演習	コミュニケーション例/説明力を学ぶ	学園祭の企画制作に関わる資料の製作及び打ち合わせ(レポート)
7	6月6日	講義・演習	面接など基本を理解する	レポート
8	6月13日	講義・演習	身だしなみについて知る	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
9	6月20日	講義・演習	働きがいとは/次回の課題を考える事ができる	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
10	6月27日	講義・演習	インタビュー課題を理解する	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
11	7月4日	講義・演習	PDCAサークル/仕事の心身を理解する	企画制作に関わる資料の製作(レポート)
12	7月11日	講義・演習	仕事の収入の成り立ち/収入について理解する	テストの答案に関して自ら調べ復習する(レポート)
13	8月22日	講義・演習	内定が出てから行うこと理解する	テストの答案に関して自ら調べ復習する(レポート)
14	8月29日	講義・演習	イベント実践を通して社会人としての振る舞いを学ぶ	レポート
15	9月5日	講義・演習	イベント実践を通して社会人としての振る舞いを学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	就職対策講座(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	飯泉さか江
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部2)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	就職における、面接マナー・現在出ている求人の確認、一人ひとりが目標とする就職先の希望を明確にする						
到達目標	社会人としての基礎力(メールの送り方、挨拶の仕方、電話の仕方、履歴書の書き方など)を学び、働くことの意味や仕事の職種、内容について考える事で自らの将来像をイメージできるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月3日	講義・演習	自己分析 自らの得意、強みを知る	プレゼン資料の準備(レポート)
2	10月10日	講義・演習	自分の発信と相手側の受け取り方について	プレゼン資料の準備(レポート)
3	10月17日	講義・演習	グループワークの進め方	プレゼン資料の準備(レポート)
4	10月24日	講義・演習	臨機応変の対応力について	学園祭の企画制作に関わる資料の製作及び打ち合わせ(レポート)
5	10月31日	講義・演習	社会人失敗例について知る	学園祭の企画制作に関わる資料の製作及び打ち合わせ(レポート)
6	11月14日	講義・演習	10年後の自分について目標を持つ	学園祭の企画制作に関わる資料の製作及び打ち合わせ(レポート)
7	11月21日	講義・演習	今行うべきことの理解と、学びについて	レポート
8	11月28日	講義・演習	対人関係について・自己表現方法について	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
9	12月5日	講義・演習	社会が求めるコミュニケーション能力を知る	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
10	12月12日	講義・演習	自分のキャリアデザインを書く	講義の内容をメモを取り振り返る(レポート)
11	12月19日	講義・演習	自分のキャリアデザインを企画書にする	企画制作に関わる資料の製作(レポート)
12	1月16日	講義・演習	自分のキャリアデザインをプレゼンテーションをする	テストの答案に関して自ら調べ復習する(レポート)
13	1月23日	講義・演習	他者のキャリアデザインにアドバイスをを行う	テストの答案に関して自ら調べ復習する(レポート)
14	1月30日	講義・演習	イベント実践を通して社会人としての振る舞いを学ぶ	レポート
15	2月6日	講義・演習	イベント実践を通して社会人としての振る舞いを学ぶ	レポート
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				